

前田の〈ちょっと経営を考えよう〉第 295 回

皆様、今年の目標をたてられましたか。やはり目標を決めて達成に向けて実行（少し厳しく努力することが必要ですね）していかなければ、なかなか目標は達成できません。よろしくお願いいたします。

ところで、シャルルドゴール（フランス）の剣の刃から少しリーダー論について書かせてもらいます。参考にしてください。

○ 偉大な人物の成功は、その人物の各種の能力の組み合わせによることは言うまでもない**気骨**、これに何も伴わなければこれは単なる無謀さ、頑固さでしかない。

しかし逆に、優れた精神的素質というだけでも充分ではないのである。

比類ない才能を有しながら気骨を欠いていたために、平凡な仕事しかしなかった無数の人物の例を歴史は教えている。

○ トロシエ将軍は群を抜く知性と教養のために抜擢され、若くして数々の大事業と関わり、勘と経験を十分に積み、祖国のあの危機に際して不動の頂点に位置していた。

彼には国の大役を果たすに何一つ不足するものはなかったが、惜しむらくは大胆な企画力と目的を貫徹させる**意志力**に欠けていた。

ところで、1月29日に実行した日銀のサブプライム政策、すなわち**マイナス金利**の効果は、もう今日2月4日にメッキがはげて、既に円高となりつつあります。

グローバル経済の怖さですね。日本がどれだけ頑張っても、中国経済の影響、原油安の影響、アメリカ経済、金利等の影響で、あっという間に円高、そして株安となる。こういった世界の動きを見過ごすわけにはいきませんね。

また激動の平成28年が始まりました。頑張ってください。

前田の《今人生を語る》第 200 回

めざめよ日本人 (122)

政治にしる、宗教にしる、指導者とは偉大な理想と一体化し、他人（国民、従業員）から最高の能力を引き出し、彼らを縦横に活動させることのできる者である。

いやはや、トップに立つ者は、難しいですね。

頑張ってください。

税務調査

松村英治

◆ 今回は、最近の税務調査における、税務署より指摘の多い内容を簡単に述べさせていただきます。

① 法人税

- ・ 売上の計上時期のズレ（計上もれ）がないかどうか
- ・ 在庫の計上もれはないかどうか
- ・ 期間損益に対応する費用計上が行われているか
⇒ 来期以降の費用になるべき内容の経費が計上されていないか
- ・ 補助金に対応する経費の計上はきちんとされているか
⇒ 補助金収入は翌期で、それに対応する経費を前払計上としているかどうか
- ・ 固定資産の耐用年数は適正か
⇒ 特に、機械装置は総合耐用年数を適用の為、中古機械の取得の際には要注意
- ・ 同族会社における親族に支払う報酬は適正か
⇒ やはりこの部分は、調査において一番うるさく質問される場所ですので、普段から説明ができるようにしておきましょう
- ・ 修繕費における資本的支出の検討
⇒ 修繕費の中には、その資産の価値を高めたり、税務上資本的支出となり、減価償却資産となるケースがよくあります

② 源泉所得税

- ・ 源泉徴収票の甲欄を適用の人には必ず、「扶養控除申告書」を記入してもらう
⇒ 調査の時に、提示できないと、乙欄課税になる可能性があります
- ・ 現物給与（給与以外での金銭等における分）
⇒ 源泉税の計算の対象にしているか
交通費・社宅費用など非課税限度額を超えるケースなど
- ・ 個人に対して支払う報酬に対して源泉税を徴収しているかどうか

また、最近におきましては、消費税の処理のミス等も数多く指摘され、修正の対象になっています

簡単ではありましたが、最近の調査においてよく指摘される点をまとめてみましたので、是非ご参考になさってください。